

幼
な
じ
み
が

サ
キ
ユ
バ
ス
だ。



彼女の名前は咲葉ユリ。
俺の同級生で幼なじみだ。

でー
昨日行った
お店でねー

お、おう
それよりさ
お前しっぽ…

あー…
でも、もう気に
してないよ。
クラスのみんなも
慣れたみたいだし。

そういう
問題か…？

彼女は「サキュバス」。
違った体質を持ってはいるが
ポジティブに暮らしている。

もう！エッチ！
アツヤが言わなければ
誰も気にしないのにさ！

でも今の体勢
パンツ丸見えだぞ？

彼女は普通の人とはちよっと
違った体質の持ち主だ。

この日は何か違った
いつもユリとは一緒にいるが
彼女からまとわりつく空気は
異質な雰囲気を感じる。

久々だな
お前の部屋も。

そ、それで
何だったけ？
昨日のテストの事で…

なッ
!?

何してんだ!!
ユリ!?

な、何!?

すれ違う雄を
見るたびに私のここが
アツくなっちゃうの…

…朝から
止まらないの…

…このままじゃ
どうしようも
ならないから
せめて…アツヤに…



なっ…!!



何でこんなにも
勃起してんだよ!



はあ…
やっただよ

ユ、ユリ
どうしたんだよ!?

やっど
エッチなこと
ができる♡



うッ!!



ほら、もう
こんなにも
パンパンに
膨らんで…

すんごい
苦しそう…♡

ユ、ユリ
ダメだ
これ以上は!

あはっ♡
すんごい
おっきくなってる♡

たくましくて
カッコいい♡

昔見たときと
全然違うね。

ユリ…!!
だ、だめだ…



んっ…
ニオイもスゴイ…♡

すんごく
いやらして
すんごく
雄臭い…♡



苦しそう…♡
楽にしてアゲルね♡

そんなッ
急に…!!

激しい…!!



うっ…!!





激しいッ…!!

ヤバイ…!!
イクッ…
イクイクッ!!



急に
深くッ!!

っ…!!



だったらイイよ
このまま射精して♡

溜まりに溜まった
濃ゆい精液
私にぶっかけて♡

ほら♡ほら♡
イケっ♡

うッ!!



んはッ!
腰がビクビク
してる♡

もう限界かな?
おちんぽイきくて
切なそう♡

うっ…!!



や、ヤバい
心臓が張り裂け
そうだ

今までに無いくらい
出し尽くした気がする…。



射精るツ!!!!

アハッ♡
スゴイ量♡

こんなに重くて
熱い精子…♡



ほら、見て？
私のも、もうこんなにも
グチュグチュだよ？♡

今の一回で満足
してないよね？♡
だったら
こっちまで
来て…
ねえ…？♡



けれど、なんでだ…？
あんなだけ出したのに
まだ治まらない…



まるでアソコが
俺のものじゃない
みたい…





ンフ：❤
まだまだお互い
満足していない
みたいだね。

よっぽど相性が
いいのか。

だったらこのまま
互いにどろどろの
ぐちゃぐちゃになるまで

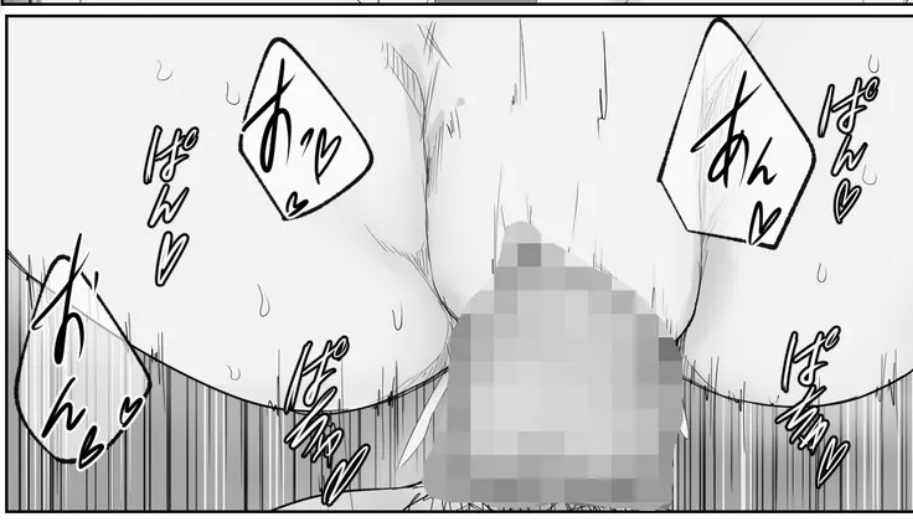


いっぱい私の
ここをおちんぽで
引っかきまわして❤

サイコーに
気持ちいい事
しよっ？❤













うッ!!!!

スゴい!!
こんなに
いっぱい!!
♡



まるで悪魔のような

恍惚の笑みを
浮かべてた。



薄れゆく意識とは反比例し
止まらない射精を続ける
俺のモノは壊れたじゃ蛇口の
ように射精し続ける。

そんな中、見上げた先の
彼女の表情は

6 時間後：

そ、それよりこんなことになつたのは体質のせい？

んー…
まあ、それもあるけど…

それも？

わかんないかなあ…
私が誰とでもする女じゃないって…

ん？なんて？

んー!!!
もういい!!
今日は寝る!!

あー…
そ、そう…

お、俺も…これ以上は何も出ねえ…

ハア…♡
さすがに
お腹いっぱいかな♡

でも、ちよつと休憩したら
まだ出来るでしょ？

えっ？

(ま、マジかよ…!?
サキュバスの性欲
やばすぎだろ…!!)

